

# 賛助会員特典のおしらせ!!

援農ボランティアと若手農家との交流イベントにご参加頂いた皆様は、くじらのペンギンハウスの大切な、大切な賛助会員です。ぜひとも、公式LINEに登録し様々な特典をゲットしてください。



## おすすめニュース!!

**お誕生日に援農ボランティアに参加されると、お祝いにショートケーキをプレゼント!!**

12分の1ヶ月の確率で、ケーキがもらえます。もし外れても、次のお誕生日に参加されると、ランチタイムにショートケーキがもらえます。次回、首を長くしてお待ちしています。そして、誕生日なら毎週日曜日に続けて参加しても何回ももらえます。ガチお得です。

**公式LINEに登録してショップカードをゲットしよう。ポイントカード制度導入でお得満載!!**

本日は、ご参加ありがとうございました。次回、参加されるとクオカード500円分がもらえます。そして、回を増すごとに、1000円・2000円と金額が増えて、さらには、特上お寿司セット、最終12ポイントゲット時には、ディナーコース料理がプレゼントされます。驚きです。

**お友達と一緒に援農ボランティアに参加すると人数分のポイントが上乘せされます!!**

くじらのペンギンハウスの援農ボランティアは、お1人様参加も大勢おられます。でも、でも、1日6時間コースの参加で1ポイントたまりますが、友達2人と一緒に3人で参加した場合、なんと、紹介者は1日で3ポイントゲットできます!!(初参加者の紹介のみ)

どれも、どれも、正直、とてもお得なキャンペーンです。薄謝ですが、進呈させて下さい。



登録方法など詳しくは、NPO法人くじらのペンギンハウスまで!!

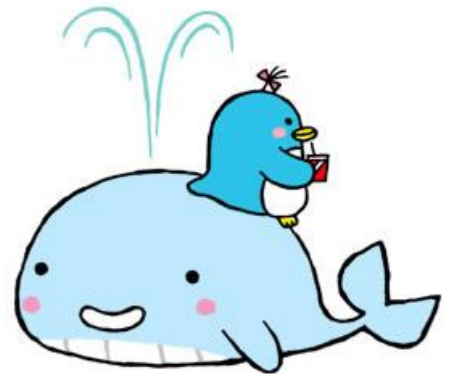
特典引き換え時には、登録カードの記入をお願いします。

# SNS登録QRコード一覧表



四季折々の採れ立て新鮮情報を配信しています。

ぜひ、登録してください。



援農ボランティア体験予約

(開催日:毎週日曜日 10:30~17:00)



食と人の架け橋  
くじらのペンギンハウス



公式 LINE ・ インスタ ・ Twitter ・ Facebook ・ WEB



085dpocn npokuzipen @ruuajp @noutaiken ruua.jp

雑談コーナーとお得な特典ページ!! こちらも見逃さないでください!!

LINE オープンチャット

くじらとペンギンの背比べ



ポイントカード

(ショップカード)



特定非営利活動法人(NPO法人)くじらのペンギンハウス

〒596-0844 大阪府岸和田市土生滝町2188番地

Web <http://www.ruua.jp/> Mail [info@ruua.jp](mailto:info@ruua.jp)

## ☆ 各種メンバーのエントリー受付のお知らせ ☆

特定非営利活動法人くじらのペンギンハウスでは、活動を応援してくれる仲間を大募集しています。

若者を応援したい!! 食べ物を本気で作ってみたい。新しいことに挑戦してみたい。沢山のひとと仲良くなって人脈を広げたい。将来のために自分を成長させたい。社会貢献をしてみたい。事業活動の企画・運営に興味がある。くじらのペンギンハウスを応援したい!!

など、志望動機は何でもOK!! 少しでも興味のある方は、ぜひお声がけください。

大変そうと不安になってしまうかもしれませんが、くじらのペンギンハウスのボランティアメンバーの皆さんは、“自分のペースで出来る事を出来る所までやる”がモットーです!!

皆さん、無理なくマイペースで活躍してくれています。

例えば、正会員の女子大生のAさんは、遠く離れて寮生活や短期留学で出国となってしまうので、年に1回の総会に書面決議に参加してくれています。また、理事の会社員女性のBさんは、zoom オンラインで理事会に参加してくれたり、年に数回、援農ボランティアの補助に参加してくれています。監事の男性会社員Cさんは、zoom オンラインで年に一回の監査の確認と年に数回援農ボランティアに参加してくれています。

一般的なボランティア団体のように、毎週のように活動に参加して日常生活もままならなくなってしまうという事例はくじらのペンギンハウスではありません。

賛助会員(無料)・正会員(初回1,000円)、そして役員として理事になるなど、沢山の関わり方があるので、皆さんが出来る範囲でお手伝い頂ければ大丈夫です。

皆さんからのエントリーを、スタッフ一同心よりお待ちしております。

### 《 会員種別 》

賛助会員: 援農ボランティア等の参加。ポイントカード利用時のみ登録カードの記入。

正会員: (NPO法上は社員と呼ぶ) 総会に参加して議決権を有する会員。会員登録。

理事監事: 別途、各種特典あり。総会で承認を受け、後日、行政に住民票を提出する

必要があります。年間予算案を検討したり、事業計画を企画したりします。



11月中旬、大阪湾を望む岸和田市の丘陵地にある畑。青空の下、ピーマンやニンジンなどの収穫、選別などに汗を流す人たちの姿があった。作業を手伝いに来た援農ボランティアたち。この日は、大阪市などから大学生、社会人ら9人が集まった。参加した理由を聞くと、「農業に興味がある」「遠足気分」など。昼食を挟んで夕方まで作業して、「楽しかった」と、袋いっぱいニンジンなどを持ち帰った。

援農ボランティアを受け入れているのは、「食と人の架け橋」を目指すNPO法人「くじらのペンギンハウス」。代表理事は、約10年前に独立就農した花野眞典さん(43)だ。畑でニンジンやニンニク、ズッキーニなどを栽培し、直売所を中心に出荷。援農ボランティアの受け入れは、毎週日曜。毎回、10〜20人ほどが参加しており、年間では数百人にとりあっている。

「くじらのペンギンハウス」は、もともと、花野さん

# 食と人の架け橋に情熱

ボランティア受け入れ・花野眞典さん



「くじらのペンギンハウス」の花野眞典さん

んが就農したときの屋号だ。一風変わった名称は、南極の水が溶け、すみかになくしたペンギンがクジラの上で生活した、そんなあつてはならないことを実現させないため、との思いが込められている。

花野さんは、大学卒業後、大阪市内のコンサルタント会社に勤務。パソコンや簿記のインストラクターを務めたが、中間管理職となると、管理業務や若手育成が主となった。現場での仕事が性に合っていると感じていた花野さんは、転職を考えた。次なる人生をかけたのが、農業だった。

食品偽装などのニュースを見て、「食べ物はどうやってできているんだろう」と興味を持っていた。マンションのベランダで野菜をプランター栽培。さらに、畑を借りて野菜を作った。試しに直売所でスイカを売ったら、すぐに売れた。「こういう仕事もあるんだな」と感じていたという。

## 「異業種交流会」刺激もらおう



苗を植えるボランティアたち=いずれも岸和田市

約8年間の会社勤めをやめた。ハローワークで見つけた岸和田市内の農園で働いて技術を身につけ、府の農業大学の講座に通って野菜と果樹栽培を学んだ。同市内に農地が見つかり、独立した。

援農を募ったのは、就農後、ほどなくしてからだ。ゼロからの就農のため、畑での作業だけでなく、見聞を広げるために勉強会などに参加したいと思った。ただ、その時間の分、畑の作業が遅れる。「じゃあ、興味ある人に手伝ってもらおう」という発想だった。そこには、多くの人に農業や食に関心を持ってもらいたいとの思いもあった。徐ネットでも募集すると、徐々に希望者が集まった。農作業が初めてという人も多いが、作業の説明は、前職でのインストラクターの経験が生きた。集まる人数はその日次第だが、単調な手作業の草引きでも、ボランティアたちがあつという間にこなしてしまふ。

府外から参加する人も多い。規模も大きくなり、いまでは、「異業種交流会みたい」と花野さん。様々な参加者と話をすることが刺激となっている。「くじらのペンギンハウス」は今年7月、NPO法人化した。3年前の台風でハウスなどが被害を受け、農業収入が一時途絶えたこともあり、いまは、コンビニの配送トラックとの兼業だが、情熱は衰えない。ボランティアに何度も来てくれる人もいるが、多くは一回限り。夏のトウモロコシ、冬のニンジンなど季節ごとに来てもらえるように、調理やバーベキューを楽しめる場も作りたいという。「ちよっとした農のテーマパークにしていきたい」

援農ボランティアについては、NPOのホームページ(<http://www.ruua.jp/>)。(西江拓夫)

「大阪 変わる農力」は、随時掲載します。